

発見！ 必見！

発行：会津教育事務所

# 放課後子ども教室



今回の訪問（2020年9月15日）は「**かわなみわんぱく遊び隊**」です。

- ・開設年度・・・令和2年度（新設）
- ・主な活動・・・ニュースポーツ、レクリエーション
- ・活動回数・・・年間6回
- 読み聞かせ・昔がたり、英語で遊ぼう等
- ・対 象・・・小学校1年生～6年生（随時入会可能）

## コロナに負けず、前向きに！



活動の前後・休憩中も消毒



チェックシートの活用

教室の感染症対策・安全管理対策として、チェックシートを導入しています。子どもの参加の有無、入退室時間、体温、体調、マスク着用についてチェックしています。活動員の情報の共有にも便利です。子どもたちの体験の機会を奪われたくないという一心で、できる限りの配慮をし、コロナ感染予防対策を行っています。



## 連携ですべての子どもに体験の機会を



安全に送迎



ちょこちょこ話

放課後児童クラブと一体型で運営している『かわなみわんぱく遊び隊』は、スタッフ間で情報をやりとりし、遠慮無く話し合うことができている。先月も「放課後子ども教室と児童クラブの子どもたちの動線」について話し合い、改善を行ったそうです。コーディネーターの坂内さんが児童の送り迎え（学校⇄児童クラブ）をしています。その際に児童の様子などを「ちょこちょこ話」でやりとりをしています。その「ちょこちょこ話」がとても重要だそうです。

児童クラブの指導員の鈴木さんは「たくさん子どもたちが放課後の時間を有意義に使ってほしいと思っています。保護者の方に教室への参加を勧めています。放課後子ども教室に参加した子どもたちは、いつも満足した顔で児童クラブに戻ってくるんです。」と嬉しそうに話してくださいました。

また、学校側ともしっかりした連携が取れています。会津域内の放課後子ども教室がコロナ感染予防で実施を見合わせる中、いち早く実施したのが「かわなみわんぱく遊び隊」です。校長先生の「子どもたちのためにやりましょう。」の一言で実施が決定しました。また、暑い時期には「熱中症対策としてエアコンのある音楽室で実施してください。」と活動場所を提供してくださった校長先生、教頭先生の配慮にスタッフ一同感激したそうです。子どもたちのために連携している『かわなみわんぱく遊び隊』は、今年度新設したばかりとは思えないほど素敵な活動を展開していました。

次年度へ向けて北会津公民館の担当者は「子どもたちのために実施回数を増やしたい。」「ボランティア募集の仕方を工夫し敷居を低くして人員を増やしたい。やがてはボランティアスタッフが主体となった運営をしていきたい。」と、PDCAサイクルで先を見据えた取組を考えていました。1/3補助事業のヒントとなりそうです。



こんなの簡単だー！



意外に頭使って動くなあ。